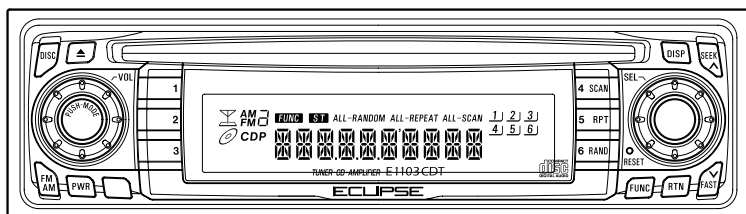




CDメインユニット

E1103 CDT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機はDC12V⊖アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

警告

- **運転者は走行中に、CD等の交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
 - **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。
-

注意

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
 - **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
 - **ディスク挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
 - **アンプ放熱部に手を触れないでください。**
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
 - **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電やけがの原因となることがあります。
 - **電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。**
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
 - **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。**
火災の原因となることがあります。
 - **長時間歪んだ状態で使用しないでください。**
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
 - **本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
 - **万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-

目 次

使用上のご注意	6
本機をお使いになるうえでのお願い	6
CDについて	8
CDの清掃	10
各部の名称	11
基本操作	12
電源を入れる/切る	12
CDを聞く	12
ラジオを聞く	13
音量を調節する	13
オーディオコントロールモードの切り換え.....	14
ラウドネスを切り換える	15
ファンクションモードでの設定	16
CD部の操作	18
CDを聞く	18
次の曲に進む/曲の頭に戻る	18
早送り・早戻しする	18
曲の始まりを演奏する(SCAN)	18
繰り返し演奏する(REPEAT)	19
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	19
CD演奏時の表示切り換え	19
ディスクを取り出す	19

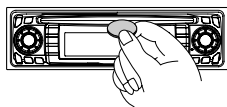
ラジオ部の操作	20
ラジオを聞く	20
自動的に放送局を記憶させる	21
手動で放送局を記憶させる	21
記憶させた放送局を確認する	22
ラジオ受信時の表示の切り換え	22
FM放送について	23
困ったときは	26
インフォメーションが点滅する	27
仕様について	31
アフターサービスについて	32

使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い



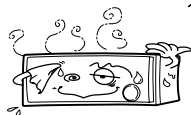
- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。
- ・本機は左のマークのついたCDのご使用をお勧めします。
- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。
- ・MP3ファイル形式のCD-R/RWは再生できません。
- ・ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



- ・悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



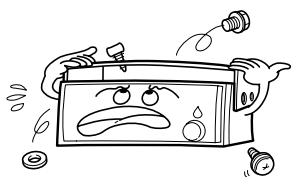
- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



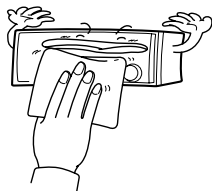
- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げってから本機をお使いください。



- ・湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると、故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



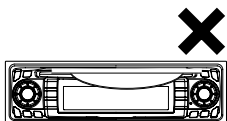
- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



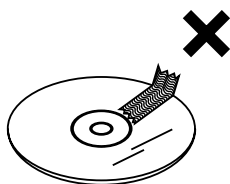
- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

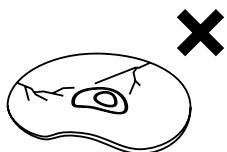
記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザ光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



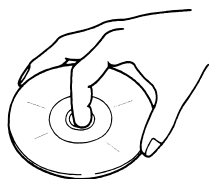
- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



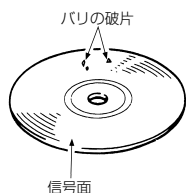
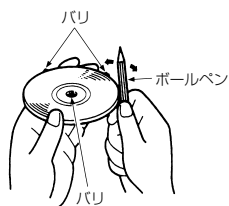
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



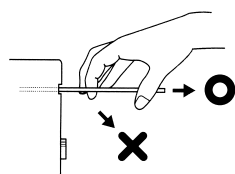
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



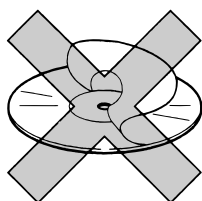
- ・信号面に触れないように取り扱いってください。



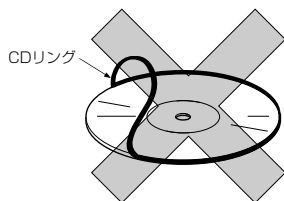
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



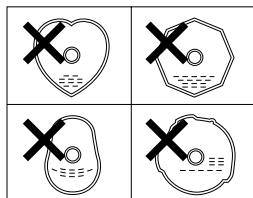
- ・本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



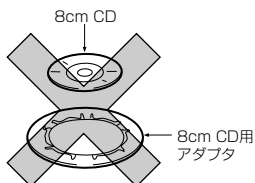
- ・音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないください。

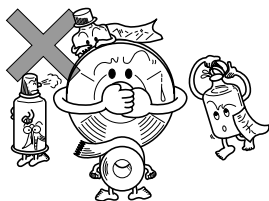


- ・本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できます。
- ・8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

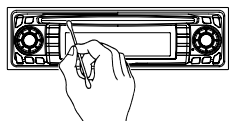
CDの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



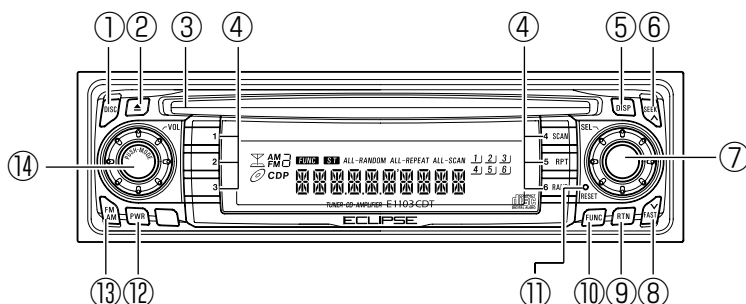
- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

各部の名称

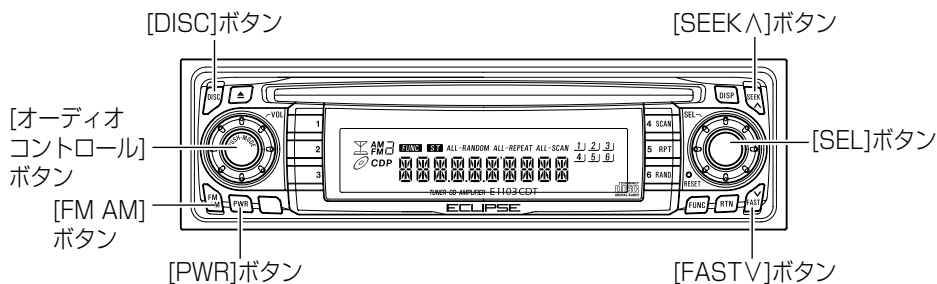
本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。(CD部の操作 18ページ、ラジオ部の操作 20ページ)



①	DISCボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
②	▲ (CDイジェクト) ボタン	CDを取り出すときに押します。
③	CD挿入口	CDを挿入します。
④	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑤	DISPボタン	ディスプレイの表示を切り換えるときに使います。
⑥	SEEK ▲ボタン	ラジオの放送局の選択やCDの早送りを行います。
⑦	SELボタン	ラジオの放送局やCDのトラックを選択するときに使います。
⑧	FASTVボタン	ラジオの放送局の選択やCDの早戻しを行います。
⑨	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。
⑩	FUNCボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑪	RESETボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
⑫	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
⑬	FM AMボタン	ラジオのバンド切り換えを行います。
⑭	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やその他の機能を操作するときに使います。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。



電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。

1 電源がOFFの状態です[PWR]ボタンを押す

電源がONになります。

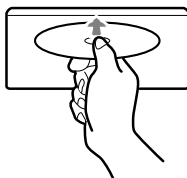
2 電源がONの状態です[PWR]ボタンを押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。

CDを聞く

1 CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する

CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



すでにCDが挿入されているときは、CDプレーヤモードになるまで[DISC]ボタンを押してください。

ラジオを聞く

1 [FM AM]ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM AM]ボタンを押しFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [SEL]ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[SEEK∧]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

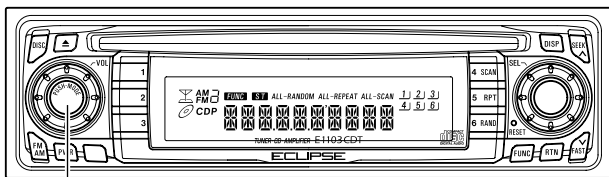
[FASTV]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

音量を調節する

1 [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

右に回す ……音量が大きくなる

左に回す ……音量が小さくなる



[オーディオコントロール]ボタン

オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1 [オーディオコントロール]ボタンを短く(1秒未満)押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

VOL → BASS → TREB → BAL → FAD

VOL(VOLUME)モード

VOL(音量)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……音量が大きくなる

左に回す ……音量が小さくなる

BASSモード

BASS(低音)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……低音を強調する

左に回す ……低音を弱める

TREB(TREBLE)モード

TREB(高音)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……高音を強調する

左に回す ……高音を弱める

BAL(BALANCE)モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……右のスピーカーを強調する

左に回す ……左のスピーカーを強調する

FAD(FADER)モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す ……前のスピーカーを強調する

左に回す ……後ろのスピーカーを強調する

ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量で聞くとときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1 [LOUD ON]と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを押す



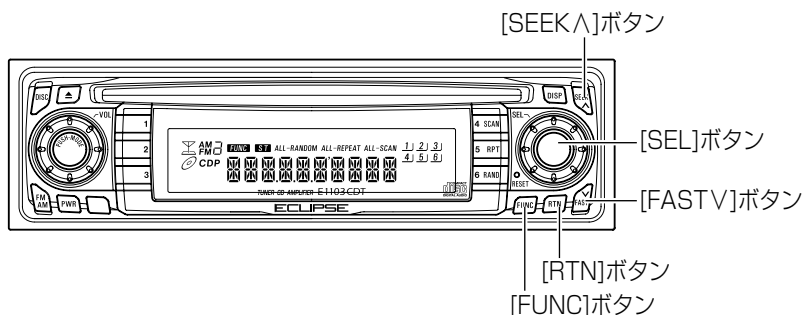
ワンポイント

ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



ファンクションモードでの設定

さまざまな設定を変更できます。

1 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [SEL]ボタンを回し設定項目を選択する

[SEL]ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。

ガイドトーン ON/OFF(GUIDE TONE)



時刻の調整(CLOCK ADJ)

3 [SEL]ボタンを押す

各調整モードに切り換わります。

ガイドトーン ON/OFF

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

1 [SEL]ボタンを回しON/OFFを切り換える

2 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

3 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(2の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

1 [SEL]ボタンを回し調整する項目を選択する

ボタンを回すたびに、時、分、正時が切り換わります。

2 [SEEKΛ/FASTV]ボタンを押して調整する

[SEEKΛ]ボタン……………選択されている時間または分が増える

[FASTV]ボタン……………選択されている時間または分が減る



ワンポイント

00分00秒(正時)に時計を合わせる時は、30分単位で次のように切り換わります。

例)

3 : 29 → [SEEKΛ/FASTV]ボタン → 3 : 00

3 : 30 → [SEEKΛ/FASTV]ボタン → 4 : 00

3 [RTN]ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

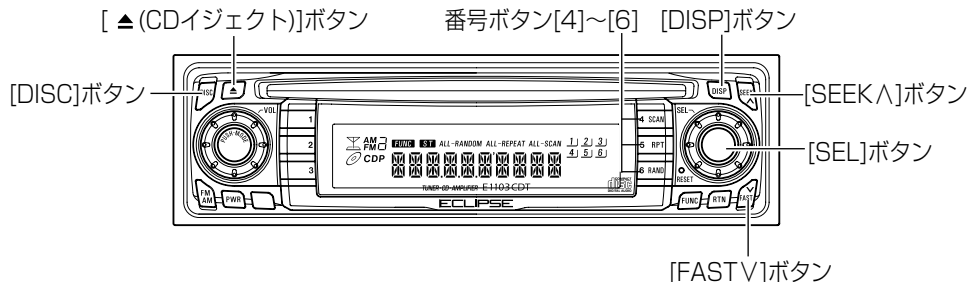
4 [FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(3の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

CD部の操作

ここでの操作は、すでにCDが挿入されていることを前提に説明します。



CDを聞く

1 [DISC] ボタンを押して、CDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。



CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [SEL] ボタンを回す

右に回す ……次の曲に進む

左に回す ……演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [SEEK∧/FASTV] ボタンを押す

[SEEK∧]ボタン ……早送りする

[FASTV]ボタン ……早戻しする

曲の始まりを演奏する^{スキャン}(SCAN)

1 番号ボタン[4(SCAN)]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4(SCAN)]を押すと解除されます。

繰り返し演奏する(リピート(REPEAT))

1 番号ボタン[5(RPT)]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。
再度番号ボタン[5(RPT)]を押すと解除されます。

曲の順番を変えて演奏する(ランダム(RANDOM))

1 番号ボタン[6(RAND)]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6(RAND)]を押すと解除されます。



ワンポイント

- ・RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・次の曲に切り換わる時：切り換わる次の曲を演奏します。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

CD演奏時の表示切り換え

1 [DISP]ボタンを押す

ボタンを押すごとにトラックNo.、経過時間→時計の順に表示が切り換わります。

ディスクを取り出す

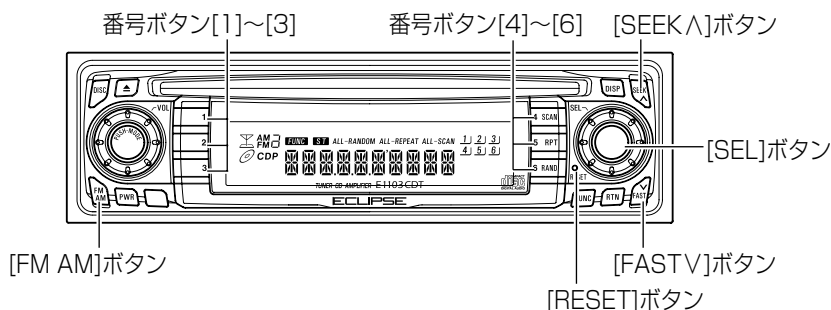
1 [△ (CDイジェクト)]ボタンを押す

挿入されていたディスクが排出されます。

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶できます。

AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶できます。



ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信できます。

1 [FM AM]ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM AM]ボタンを押してFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3 [SEL]ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す ……周波数の高いほうへ移る

左に回す ……周波数の低いほうへ移る

4 [SEEK∧/FASTV]ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[SEEK∧]ボタン ……周波数の高いほうへ選局

[FASTV]ボタン ……周波数の低いほうへ選局

自動的に放送局を記憶させる

[FM AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [SEL]ボタンを長めに(2秒以上)押す

「ASM ON」と表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよび[RESET]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [SEL]ボタンを回して記憶させる周波数に合わせる

2 任意の番号ボタン[1]～[6]を長めに(2秒以上)押す

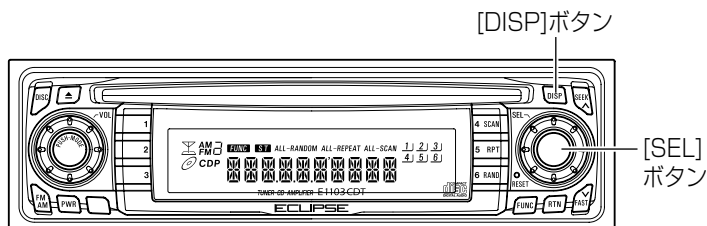
選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよび[RESET]ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

1 [SEL]ボタンを短く(1秒未満)押す

プリセットスキャンが始まります。

周波数とプリセットチャンネルが表示されます。

2 再度[SEL]ボタンを短く(1秒未満)押す

通常の状態に戻ります。

ラジオ受信時の表示の切り換え

1 [DISP]ボタンを押す

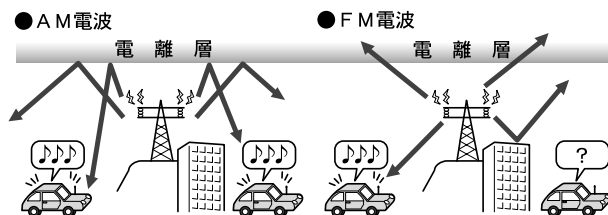
ボタンを押すごとに周波数→時計の順に表示が切り換わります。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

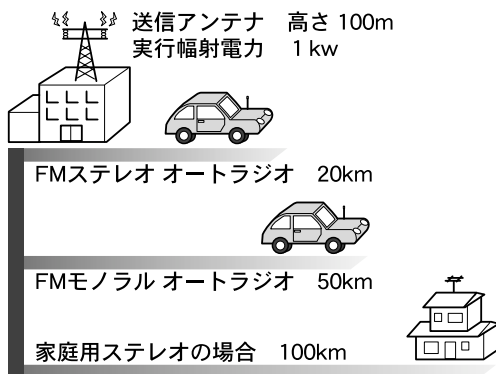
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

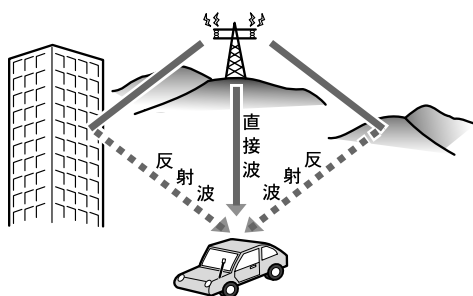


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。

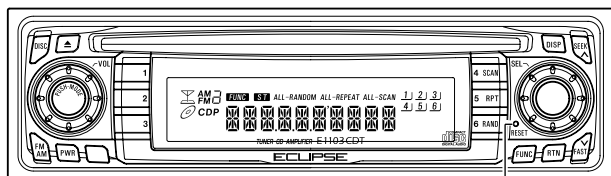


困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[RESET]ボタンを押してください。



[RESET]ボタン

[RESET]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

インフォメーションが点滅する

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共 通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	13
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	14
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	21
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	16

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	20
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	20
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けしないでください。	8
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	8,9
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてくださ い。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	—
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってくださ い。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	7
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってくださ い。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	90dB(IHF-Aネットワーク)
ステレオセパレーション	68dB
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 μ V(S/N20dB)

共通部

トーンコントロール	BASS ± 10 dB(100Hz) TREBLE ± 10 dB(10kHz)
ラウドネス	100Hz: +10dB 10kHz: +6dB
最大出力	40W $\times$ 4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、 $\ominus$ アース専用
消費電流	1W $\times$ 4出力時 約3A、最大約12A
寸法	178mm(幅) $\times$ 50mm(高さ) $\times$ 158mm(奥行)
重量	本体約1.4kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(26ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。

◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。

◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。

保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。

※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4. 出張による修理、点検は行っておりません。

5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

＜商品に関するお問い合わせ先＞ アフターサービスについて

＜商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ＞

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00

（土・日・祝日などを除く）

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 （西新宿KFビル）	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目 1 番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 （イワイビル）	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 （セレッソワン101）	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 （サンライズ用宗105）	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081(代表)

090002-25530700
0301MT (Y)